

# 成長する都市と人々の暮らし

The lives of the people in a growing city 成長的都市と人们的生活 成長的都市與市民的 life 성장하는 도시와 사람들의 생활

明治から昭和の初めにかけて、都市の発展とともに外国との交流が盛んになり、暮らしの洋風化が進みました。

西洋料理が広まり、門司には九州初のビール工場(サクラビール)が誕生しました。また、大きな建物の中に様々な商品が並ぶ百貨店(デパート)も各地で人気を集めました。人々の暮らしが豊かになったことで新聞・雑誌・ラジオ等の娯楽が生まれ、1903(明治36)年には県内初の映画館が門司に開館し、人々を楽しませました。外国で人気の競馬も国内で行われるようになり、1908(明治41)年には戸畑に競馬場が開場しました。



西南女学院の女学生たち(昭和初期) 西南女学院の女学生たち  
女学生の制服としてセーラー服の着用が始まり、男子学生は  
詰襟や背広が制服として定着しました。



門司の帝國麦酒の工場内(大正初期) 門司の帝國麦酒の工場内  
1913(大正2)年に工場が竣工して醸造を始めた「サクラビール」  
は外国にも輸出されました。



小倉で初めての洋食店(カフェライオン、昭和10年) 小倉で初めての洋食店  
当時、珍しかったカレーライス、コロッケなどの西洋料理が一般  
にも広まりました。



サクラビールのポスター(昭和初期) 薩摩新聞



サクラビールの広告(昭和初期)



門司の平井屋百貨店(昭和13年) 門司の平井屋百貨店  
百貨店には食堂や屋上庭園もあり、家族連れに人気のお出かけ  
スポットでした。



小倉の映画館(真東館、大正初期) 小倉の映画館  
映画は、市民の娯楽として人気がありました。大正時代には  
5市内に17館の映画館がありました。



戸畑の東洋競馬会の門の前(明治末期) 戸畑の東洋競馬会  
戸畑に開場された競馬場はのちに移転し、小倉競馬場になり  
ました。



駅で販売されたサイダーの広告(明治末期から大正初期頃)



小倉のかねやす百貨店の建築記念誌表紙(昭和11年)



小倉の常盤百貨店の建築記念誌表紙(昭和13年)





西南女学院の女学生たち(昭和初期) 提供: 学校法人西南女学院

女学生の制服としてセーラー服の着用が始まり、男子学生は詰襟や背広が制服として定着しました。



# 市民に向けられる空襲

Air raids on civilians 对准市民的空袭 对非市民的空袭 시민들을 향한 공습

1944(昭和19)年7月、アメリカ軍がサイパン島などを奪取すると、B29の飛行できる範囲が広がり、日本全土に向けて空襲を始めました。1945(昭和20)年になると、軍事や工業の拠点だけでなく、全国的に市街地や民家も空襲の被害に遭い、人々は常に空襲を意識して過ごしました。



北九州空襲 昭和19～20年被災地図

市町村	焼夷弾	高射砲	高射機	高射砲	高射機	焼夷弾	高射砲	高射機	焼夷弾	高射砲	高射機
北九州府	54	126	43	22	104	379					
福岡県	120	152	103	4	135	924					
北九州市	2	2	2	2	4	34					
八幡市	25	40	3	18	300						
若松市	336	324	335	6	545	2,685					
門司市	14	8	6	8	3	325					
小倉市	14	48	6	27	143	132					
北九州市	2	7	1	1	202	30					
北九州市	55	92	3,616	99	1	16,190					
北九州市	8	2	94	27	5	506					
北九州市	1	7	11	3	8	35					
北九州市	27	17		314	17	1,800					
北九州市	65	120		1,579		4,500					
北九州市	1785	111	11,296			93,534					
北九州府	2,601	1,113	13,702	4,200	249	140,777					

北九州の空襲被害数 (日本戦時空襲被害史より)

## 標的が変わっていった空襲

当初の空襲では工場などが攻撃されましたが、1945(昭和20)年になると、住宅地域が目標となりました。アメリカ軍は、家屋が多い市街地に効率よく被害を与えるため、爆弾の中にガソリン等の燃えやすい発火物を注入し、地面に落ちると周り一帯を焼き尽くす「焼夷弾」を投下しました。

「焼夷弾」が投下されたら、逃げずに消火することが勧められていましたが、凄まじい火力で燃え上がるため、消すことは容易ではありませんでした。



八幡の空襲(昭和19年8月) ※国立公文書館所蔵



神戸市に投下される焼夷弾(昭和20年) ※国立公文書館所蔵 皇典、工業省文芸

## 空襲への応戦

B29の空襲に対し、日本軍は高射砲による砲撃や戦闘機を出撃させ応戦しましたが、数に勝るアメリカ軍の猛攻を抑えることは容易ではありませんでした。

また、低空からの攻撃を防ぐため、金属ケーブルで繋がれた防空気球を上げるなど試みましたが、空襲を阻止することはできませんでした。



昭和12年に連彩が施された講堂 前橋市前橋中町の公立講堂(当時)が空襲で焼失。空襲を避けるため、この頃、大きな建物には迷彩色の防空偽装が施されました。



防空気球の配置・空襲写真が記された米軍資料 気象エリアから下関まで広範囲に視認されています

## 空襲ととなりあわせの暮らし

Living side-by-side with air raids

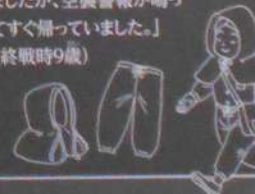
「見回りの方が外から大きな声で『〇〇さーん、灯が漏れていまーす。』と。オロオロする母、大事なことはいえこの呼び掛けは恨めしく悲しかったです。」 (終戦時9歳)



「枕元には鞆と靴を置き、服を着たまま寝ていましたが、ひとたび空襲警報が鳴り始めると母に起こされ防空壕へ避難しました。」 (終戦時9歳)



「母は自分のかすりの着物で私の防空頭巾ともんべを作ってくれ、私は嬉しくて毎日それを身に付け通学していましたが、空襲警報が鳴ってすぐ帰っていました。」 (終戦時9歳)



「壕の中は、すし詰め状態で身動きが取れず、警報解除でやっと母と妹と再会、外気にも触れることができたのでした。」(終戦時10歳)



戦災被災地図 国立公文書館所蔵

(若松市)



(戸畑市)



(小倉市)

北九州はB29による初空襲の1944(昭和19)年6月16日から1945(昭和20)年8月8日までの間に13回もの空襲を受けました。それによって、5市合わせて死者は約4,100人にのぼりました。北九州は5市すべてが空襲によって被災しましたが、なかでも物資や交通の要所であった門司市と八幡市は特に激しい被害を受けました。



# くう しゅう おう せん 空襲への応戦

Air defense

B29の空襲に対し、日本軍は高射砲による砲撃や戦闘機を出撃させ応戦しましたが、数に勝るアメリカ軍の猛攻を抑えることは容易ではありませんでした。

また、低空からの攻撃を防ぐため、金属ケーブルで繋がれた防空気球を上げるなど試みましたが、空襲を阻止することはできませんでした。



昭和12年に迷彩が施された講堂  
西南女学院ロウ記念講堂(W.M.ヴォーリス設計)、現存建物  
提供：学校法人西南女学院  
空襲を防ぐため、この頃、大きな建物には迷彩色の防空偽装が施されました。



防空気球の配置・空撮写真が記された米軍資料  
筑豊エリアから下関まで広範囲に視認されています

米国国立公文書館所蔵